



福留 強
聖徳大学生涯学習研究所所長

今日、私に関わる「生涯学習」「まちづくり」の分野で、女性の活躍が目立ちます。彼女たちのエネルギーが新しい風を起こしています。それは、この分野だけの話ではありません。職場はもちろん、サークル、自治会、地域活動…。いたるところで、女性が輝いています。

聖徳大学生涯学習研究所は、そのエネルギーに注目し「女子力」を研究テーマのひとつに掲げ「女子力フォーラム」を開催しています。3回目となる今回は「まちづくり」「まちの活性化」に注目して参加者のみなさんと考えます。

明日を元気に生きるための活力を蓄えるフォーラムです。今後の活動にお役立てください。

生涯学習研究所所長、聖徳大学名誉教授、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会 理事長
国立社会教育研修所教務課長、文部省社会教育官などを歴任。全国生涯学習フェスティバルの実施や全国生涯学習まちづくり研究会の結成など、生涯学習まちづくりブームの仕掛け人として知られる。講演を含めまちづくり関与した市町村は約1,000。自治体の生涯学習推進や地域の活性化方策などで全国的に大きな影響を与えている。九州女子大学教授、九州共立大学他三大学共同の生涯学習研究センター所長を歴任、聖徳大学教授、聖徳大学生涯学習研究所所長、聖徳大学名誉教授となり現在に至る。著書として、『生涯学習まちづくりの方法』（日常出版）、『子ほめ条例のまちは変わるのか』（イザラ書房）、『創年のススメ』（ぎょうせい）、『もてなしの習慣～みんなで観光まちづくり』（悠雲舎）、『図書館がまちを変える』（東京創作出版）など多数。

女子力が まちの活性化に生きる

聖徳大学
生涯学習
研究所

女子力
フォーラム

日時 平成26年2月1日(土) 13:00~16:15

会場 聖徳大学生涯学習社会貢献センター
(聖徳大学10号館)

千葉県松戸市松戸1169
JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分



生涯学習研究所は大学と地域を結ぶ研究と、生涯学習の推進に関する研究のための機関です

- ・ 聖徳大学の社会貢献に関する研究、特に、生涯学習の推進やまちづくりに関する研究、資格に関する研究や調査、大学を活用した再チャレンジに関する研究などを行います。
- ・ より良い生涯学習社会実現のため、広く教育全般に貢献することを目的としています。そのため、次のような事業を行っています。

- (1) 生涯学習に関する教育内容・方法の研究及び開発
- (2) 生涯学習に関する修得単位の活用方法等の調査研究
- (3) 生涯学習に関する公開講座の開設
- (4) 生涯学習指導者の養成及び研修
- (5) 生涯学習に関する情報の提供・収集・相談
- (6) その他、目的を達成するために必要な研究

聖徳大学生涯学習研究所は、市民のみなさんの「生涯学習」「まちづくり」をサポートし、一緒に考えていく機関です。ぜひ、ご相談にお立ち寄りください。



お問い合わせ **聖徳大学生涯学習研究所**
〒271-8551 千葉県松戸市松戸1169
聖徳大学生涯学習社会貢献センター(聖徳大学10号館)6階
TEL:047-365-5691 FAX:047-365-5692
URL <http://www.tunagari.jp/> Email:frontier@seitoku.ac.jp

基調講演「女子力がまちを活性化する」

時間:13:00~
会場:14階

現在、女性が「女子力(きらきらと輝いた生き方をしている女性が持つ力など)」を発揮し、家族や仲間、住民同士が共に支え・励まし・助けあい(愛)ながら家庭や職場、地域社会を活性化する、いわゆる「生涯学習による“まち(地域社会)”づくり」が盛んになっています。

つまり、豊かな「女子力」をもつ女性が主役となって、男性とは一味違った視点や発想で“まち”づくりを企画・運営し、成果を挙げているのです。

これからも、皆様一人一人がそれぞれの場で輝いてほしいと思います。そのためは、様々な状況に対応した「女子力」を創造し磨き続けることが大切です。そのヒントがこのフォーラムで発見されることを切望しています。



しみず ひでお
清水 英男

聖徳大学文学部文学科教授、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会副理事長
1967年に栃木県の高校教員となる。以来、同県の社会教育主事や指導主事、生涯学習課長や高校教育課長、教育次長、高校の教頭や校長も歴任し、2001年から聖徳大学教授となり現在に至る。専門は、社会教育学、生涯学習論、家庭教育支援論、学社連携・融合論など。論文は、「市民と行政の協働をシステム化する生涯学習推進計画の研究」、〔2012年 聖徳大学生涯学習研究所紀要〕、「新学習指導要領と生涯学習〔2012年 日本生涯教育学会年報 第32号〕」など多数。

主催：聖徳大学生涯学習研究所
共催：特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会
後援：松戸市教育委員会
協力：アルゴ・ピクチャーズ

女たちのまちおこし

—映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」から—

時間:13:30~15:00
会場:14階



映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」ダイジェスト版上映

**あんたら男にゃ任せておけぬ。私に変えますこの町を！
女たちの大きな愛がふたたび町と人生を輝かせる。**

—あらすじ—

熊本県天草市牛深。100年前、豊富な漁獲量を誇ったこの海の町には、若く屈強な男たちが稼ぎ、金が舞い、豪華絢爛な花街が栄えた。しかし今では魚は獲れない、働く場はない、若者はいない、日本一の衰退都市とささやかれる有様。

ウツボ屋の女房・弓枝(大竹しのぶ)、スナックのママ・ゆり子(松田美由紀)、漁師の嫁・俊恵(西尾まり)は天草で暮らす女友達。財政も活気も先細っていく町をなんとか活性化させたいと思っているが、男は働かず酔っぱらってばかりで九州男児のプライドだけは高い。業を煮やした弓枝たちが立ち上がる。元遊郭を料亭に、主婦が芸者に、女が「女」でまちおこし。離婚を機に東京から戻って来た春美(杉田かおる)も加わり、女にしかできないアイデアと行動力勝負の「町再建計画」が始まる。

クロストーク

2013年10月に公開された映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」は、日本一の衰退都市とささやかれる熊本県天草市牛深を舞台にした、女性による女性ならではのまちおこしを題材にしています。大竹しのぶ、長山藍子といった日本を代表する実力派女優陣の共演も話題を呼びました。

年齢、立場に関係なく未来を切り開いていこうとする彼女たちの姿には、誰もが勇気づけられるでしょう。

今回の女子カフォーラムでは、映画のダイジェスト版をご鑑賞の後、プロデューサーの小泉氏、企画の福田氏、研究所所長の福留を交え、女性ができるまちおこし、まちづくり、そこに活かされる女子力とは何かを考えます。



小泉 朋

(映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」プロデューサー、株式会社テトラカンパニー 代表取締役)

こいずみ とも/2000年に製作した黒沢清監督作品「回路」より制作スタッフとして映画業界に入る。黒沢監督をはじめ、井筒和幸監督、塩田明彦監督、阪本順治監督などの映画を中心に約50以上の作品に携わり、2010年2月株式会社テトラカンパニーを設立。岐阜県恵那市で撮影された「ふるさとがえり」の撮影も携わり、取材をす。2011年10月南報堂DYグループ会社「STORIES」執行役員として設立に携わる。そこでは日本映画の新しい製作スタイルに挑戦。2013年秋～公開中の映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」プロデューサー。



福田 智穂

(映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」企画者)

ふくだ ちほ/1975年上天草市生まれ。いくつものアルバイトを経て、スーパーのレジスターとなる。スーパーが葬祭センターになると聞き、おばちゃん達とスーパー倒産を防ぐためダンスチームを結成、存続を願った魂のダンスを踊るが、あっけなく葬儀場になってしまう。しかし、この事が映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」企画の基になる。そして天草ケーブルテレビに入社。高校生の時、興味本位で応募した『天才!たけしの元気が出るTV』のお笑い甲子園にて準優勝する経歴あり。天草ケーブルテレビを退社し東京の映画学校へ入学。そこで、講監督・脚本家南えるとに出会い、前述作を企画。



福留 強

(聖徳大学生涯学習研究所所長)

参加者交流会

Salon de soleil

時間:15:15~16:15
会場:12階

Soleil (ソレイユ)とはフランス語で太陽を意味します。映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」のキャッチコピー「今でも、女性は太陽だった。」のように、輝ける未来を切り開く女性たち、またそれを支え、サポートする男性たちの意見交換、交流の場です。夢や希望、課題などまちおこしについて考えてみましょう。

第1交流会

「女性がまちづくりに関わるきっかけ」

女性がまちを、社会を素敵に変えています。まちが輝き、自分が輝く。当交流会では、起業や団体、行政の最前線で活躍する女性たちは何を考え、どのように行動しているのかお話をうかがい、わたしたちがまちづくりに関われることについて考えます。



コメントーター 白井 眞美

(松戸市教育委員会生涯学習部社会教育課課長補佐)
1986年松戸市役所入所、秘書課に配属。その後、議会事務局、総務課へ。2000年から松戸市教育委員会公民館において社会教育主事として事業を担当する。2005年に経済担当部商工観光課へ異動し、労働行政、観光行政を担当する。2013年に松戸市教育委員会生涯学習部社会教育課へ。現在に至る。



コーディネーター 長江 曜子

(聖徳大学児童学部児童学科教授)

第2交流会

「ふれあいの場をどう創るか」

男女平等の社会といっても、ときには「女性だからこそ」の視点が必要とされます。特に、女性ならではの細やかな気づかいと温かみのあるもてなしは、居心地のよい空間を創るでしょう。当交流会では、このような女子力をもつ人々が集い、互いに磨きあいながら、まちづくりのアイデアなどを話し合うことができる効果的な居場所づくりについて考えます。



コメントーター 鈴木麻里子

(有限会社鈴和商会 代表取締役、株式会社エフエム松戸 代表取締役)
1986年旭化成工業株式会社勤務を経て、父の経営する有限会社鈴和商会(クリーニング)を後継する。松戸二丁目中通り商店会、松戸伊勢丹通り商店会、松戸駅周辺活性化推進協議会などに所属する中、各団体が熱心に活動するも、周囲に上手に情報伝達できていないことを痛感する。2010年かねてより松戸にコミュニティFMを作りたい仲間が集まり、まずインターネットラジオにて「ラジオボフロ」を配信。2011年3月株式会社エフエム松戸を設立。電波取得の為に活動を続けながら、松戸の活性化と発展の為に番組の配信をおこなっている。



コメントーター 剣持 英子

(Café de KAORIオーナー、松戸商工会議所女性会理事)
松戸駅東口駅前の「Café de KAORI」のオーナー。松戸警察署女性友の会、松戸逸品研究会、更には「創年のたまり場」を運営し松戸に根ざした活動を精力的におこなっている。



コーディネーター 清水 英男

(聖徳大学文学部文学科教授)

タイムスケジュール

基調講演(会場:14階)

13:00▶

「女子力がまちを活性化する」

清水 英男

(聖徳大学文学部文学科教授)

女たちのまちおこし—映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」から— (会場:14階)

13:30~15:00▶

映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」ダイジェスト版上映

クロストーク

小泉 朋(映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」プロデューサー)

福田智穂(映画「女たちの都～ワッゲンオッゲン～」企画者)

福留 強(聖徳大学生涯学習研究所所長)

15:15~16:15

「女性がまちづくりに関わるきっかけ」(会場:12階)

コメントーター: 白井 眞美

コーディネーター: 長江 曜子

「ふれあいの場をどう創るか」(会場:12階)

コメントーター: 鈴木麻里子

コメントーター: 剣持 英子

コーディネーター: 清水 英男